

各府省におけるレビュー及びRFI等を踏まえた 今後の国家戦略策定に向けた論点整理（案）

令和6年10月3日

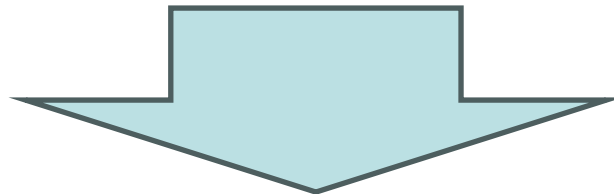
第3回国際標準戦略部会 資料



内閣府知的財産戦略推進事務局

各府省レビュー・RFI等を踏まえた振り返り①

- 国際標準総合戦略のレビュー結果については、各省庁や民間団体の尽力により、およその項目で進展があった。また、国際標準活動全体においても、各省庁や民間において、特に近年、様々な取り組みが進められた。
- 一方で、2006年に策定された「国際標準総合戦略」にも必要な施策として盛り込まれているような、「産業界（特に経営層）の意識改革、産業界における経営戦略への国際標準の組み込み」や、「アカデミアや研究開発の現場における研究活動と国際標準化の一体的推進」、「国際標準化に関する情報収集の充実」、「国際標準人材育成」、「大学等における標準教育の支援」、「アジア等の諸外国との連携強化」といった観点については、依然として課題が残っているとの指摘がある。
- また、上記の課題に加え、諸外国との比較を踏まえて、「なぜ国際標準活動を行うのか、その目的・ナラティブの必要性」や、「国際標準活動を支える認証等支援機関の強化」、「官民の連携強化のためのメカニズム」、「具体的な標準化ターゲット（標準化テーマや重要産業分野）」が必要ではないかといった指摘がある。



各府省レビュー・R F I等を踏まえた振り返り②

- さらに、今回の各省レビューやR F Iにおいて、「一つの団体や領域では十分に対応できない融合分野の拡大」といった課題とともに、「国際標準活動を担う社内人材に対する評価やキャリアプラン」、「標準に対する我が国の法制度上の位置づけ」、「アカデミアや研究機関における国際標準活動への適正な評価」、「投資家への訴求」、「認証等のマーケットの拡大」、「国際標準についての産学官や各省庁の連携・一体的な情報収集とデータ共有」「成功例のイメージが必要」などといったアイデアを示していただいているところ。
- 加えて、国際標準総合戦略を始め、我が国の国際標準活動がこれまで十分にレビューされてこなかったことを始め、政府や民間における国際標準の戦略的活用への取組みについて、K P Iなどの指標等も設けられておらず、これまで十分な点検・評価・改善のサイクルが図られてこなかった点も課題（※）。
（※一部の省庁（経済産業省等）においては取組の振り返りやP D C Aサイクルの実施がなされているものの、政府全体の取組とはなっていない。）。

国際標準に係る国家戦略策定に向けた論点整理（案）①

上記の国際標準に係る取組みの振り返りと課題を踏まえ、今後、以下のような論点について、議論を進めていくこととしてはどうか。

<論点1 国際標準活動の意義・目的とそのナラティブ、それらを踏まえた将来像とその実現に向けた課題・方策>

- 我が国が国際標準活動に取り組む意義・目的とそのナラティブ（物語）の検討
- 上記を踏まえ、また、デジタル・AI等の進展による社会変革を見据えた10～20年後の我が国のあるべき姿（将来像）の検討
- 上記の将来像の実現に向けた課題の検討とその解決に向けた方向性 等

<論点2 企業や大学等における経営・研究と国際標準との一体化、行動変容>

- 経済界における経営戦略・イノベーション戦略等における標準や知財の適正な位置づけ（オープン&クローズ戦略・SEP（必須特許）・オープンイノベーション等）の検討
- 経営層の意識改革・行動変容
- 外部の認証等支援機関等との連携
- 企業内における標準人材の地位向上、適正な評価
- 大学や研究機関における国際標準活動への取組の適正な評価
- スタートアップ・ベンチャーによる新たな事業領域を開拓する国際標準活動支援
- 成功例（モデル）の構築や事例集とアナウンスメント 等

＜論点3 国際標準エコシステムの構築・強化＞（※論点2とセット）

- 企業内・大学内・研究機関内での国際標準人材のリスキング・キャリアプランを含めた人材育成支援の検討
- 国際標準に係る外部人材層の強化や、国際標準への対応能力を向上させるための支援機関等(規格策定機関、認証機関、政府関係機関(研究開発機関等)、アカデミア、支援サービス提供企業等)の強化や、標準・認証等のマーケットの在り方検討
- 国際標準活動への投資家への訴求等の検討 等

＜論点4 標準・認証等に関する官民ガバナンス改革＞

- 諸外国の事例を踏まえた我が国の法制度における積極的な標準・規格活用等の検討
- 現在行政機関等が担っている認証等についての外部認証機関等の積極活用の検討
- 現在企業が行っている自己認証や自己試験についてのアウトソーシングの促進
- 国等の研究開発予算における標準検討のデフォルト化
- 政府調達（物品・サービス）における標準への配慮 等

＜論点5 産金学官連携の強化、司令塔機能の強化、政府の支援策の在り方＞

- オールジャパンでの国際標準活動の促進を図るため、有識者・専門家を交えた産金学官民連携の場の整備、データプラットフォームの構築、産金学官民連携による国際標準組織への人材供給等
- 諸外国の事例を踏まえた我が国における国際標準活動の司令塔機能強化に向けた検討
- 国際標準活動を促進するための効果的・効率的な政府支援の在り方 等

＜論点6 国際連携・パートナーシップの強化＞（※論点7とセット）

- 海外の規格におけるインターオペラビリティの確保と協調等も視野に入れた、分野ごとの、他国・他地域・国際機関等との戦略的な連携・協調の在り方検討
- モニタリングや情報収集、リスクコントロールの観点を含めた、国際標準に係る国際会議への積極的な参画
- これまでの信頼関係や既存の国際会議を活用しつつ、経済安全保障の観点も踏まえた、ASEAN等の他国・他地域との戦略的なパートナーシップの構築 等

＜論点7 重要領域・戦略領域の選定基準とその選定・基本的な方針の策定＞

- 重要領域・戦略領域の選定と複数領域のパッケージ化・有機的連携を含めた包括的・統合的な戦略の検討
- 経済安全保障やサプライチェーンといった横断的領域への対応 等

＜論点8 実効的なモニタリング・フォローアップの枠組みの検討＞

- 官民の国際標準活動の現状を把握するための指標等の整理と、そうした指標等に基づくアジャイルな進捗点検、必要に応じた取組みの見直しの検討
- 国際標準を巡る国際動向の効果的なモニタリング 等

今後の国際標準戦略部会スケジュール（案）

	日程	議事
第1回	2024年 5月27日 (済)	<ul style="list-style-type: none"> ・部会開催について（周知） ・部会での検討課題について（各委員の問題意識の共有）
第2回	2024年 8月 5日 (済)	<ul style="list-style-type: none"> ・国際標準戦略をめぐる現状・課題（1） <ul style="list-style-type: none"> ・欧米中の国家戦略のレビュー ・国家標準総合戦略のレビュー①：内閣府 知的財産戦略推進事務局の取組のレビュー ・今後のスケジュール（案）
第3回	2024年10月 3日 (今回)	<ul style="list-style-type: none"> ・国際標準戦略をめぐる現状・課題（2） <ul style="list-style-type: none"> ・国家標準総合戦略のレビュー②：関係省庁の取組のレビュー ・Request For Information (RFI) 結果報告 ・論点整理（優先順位付け）
第4回 ～ 複数回	2024年11月中旬ころ ～	<ul style="list-style-type: none"> ・各論点（案）について複数回での議論 論点1：国際標準活動の意義・目的とそのナラティブ、それらを踏まえた将来像とその実現に向けた課題・方策 論点2：企業や大学等における経営・研究と国際標準との一体化・行動変容 論点3：国際標準エコシステムの構築・強化 論点4：標準・認証等に関する官民ガバナンス改革 論点5：産学金学官連携の強化、司令塔機能の強化、政府の支援策の在り方 論点6：国際連携・パートナーシップの強化 論点7：重要領域・戦略領域の選定基準とその選定・基本的な方針の策定 論点8：実効的なモニタリング・フォローアップの枠組みの検討
第●回	2025年3月末 ころ	<ul style="list-style-type: none"> ・国際標準に係る国家戦略案（仮称）の議論 ※目標設定等
第●回	2025年5月中旬ころ	<ul style="list-style-type: none"> ・国際標準に係る国家戦略案（最終）（仮称）の策定

2025年6月 知的財産戦略本部会合にて国家戦略を決定